既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会
第 3 回 WG1、2（合同）　議事録（案）

■日時：2019 年 1 月 28 日（月）　13:00～15:00
■場所：JCI 本部
■出席者：竹田委員長、濱崎幹事、山口幹事、江良幹事長、審良委員、都築委員、花房委員、
　　山本委員、十河顧問、戸口事務局
■配布資料：
　3-1　第 2 回 WG1,2（合同）議事録（案）
　3-2　第 1 回全体委員会 議事録
　3-3　第 1 回幹事会議事録
　3-4　補修工法の分類（表面含浸工）
　3-5　補修工法の分類（表面被覆工）
　3-6　補修工法の分類（下水道版）
　3-7　補修工法の分類（ひび割れ補修工）
　3-8　補修工法の分類（電気化学的防食工）
　3-9　研究委員会報告資料　活動報告（2019 年 1 月 31 日）

■議事
１．議事録確認
・「2020 年 3 月に論文を載せるには～」⇒「2020 年 3 月に会告を載せるには～」
・なお、シンポジウム会場の予約は 1 年前を目途に行う。

２．議事
・情報整理表のまとめ方を変更し、各技術の内容を詳しく記述した。
・電気化学的防食工法については、併用可能な工法を追記した。
・表の「その他」は不要なので削除する。
・表面被覆工の「その他」は「剥落防止・第三者被害」に該当すると思われる。
・整理表の追加事項。表右側の長所、短所等の記載に加え、欄を追加して「それらの特徴事項を評価するための試験方法、確認方法の有無、内容」を記載する。
・評価には、工法選定段階での評価と、現場での性能確認段階での評価の 2 種類が考えられる。
・表面含浸工、表面被覆工は主に土木学会基準が参考となる
・ひび割れ注入工は主として JCI のひび割れ指針が参考となる。
・ひび割れ補修の分類は、大きく有機系と無機系に別れ、その中にそれぞれ内圧充填式や鉄筋腐食抑制型などが含まれる。
・工法選定のヒントとなるような記述があるとよい。
・各工法の概算工事費があるとよい。
・再補修の可否、他工法との併用の可否などの情報があるとよい。

・その材料または工法を使用した場合、どのような影響が考えられるか、という記述があるとよい。
・WG1 では、各材料の品質基準、適用条件、試験方法の有無を整理する。
・WG2 では、劣化機構、劣化過程、環境条件に応じた核技術の性能評価方法を整理する。

３．次回予定
・全体会議　3/28　14:00～17:00

以上